

3年国語科

(1) 観点別学習状況の評価例

<p>■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照</p>	<p>知識及び技能 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>学びに向かう力人間性等 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。</p>
<p>■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照</p>	<p>知識・技能 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている</p>	<p>思考・判断・表現 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。</p>
<p>○授業の構想と学習評価例</p>	<p>○漢字 ・今までに学習した常用漢字とその他の常用漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使おうとしている。 (授業プリント・テスト) ○古典 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しもうとしている。 (授業プリント・テスト) ○書写 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書こうとしている。(毛筆・硬筆【作品】) ○文法 言葉について理解したり表現したりするために言葉について理解を深めようとしている。 (授業プリント・テスト)</p>	<p>○発表・グループワーク ・進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めようとしている。 (授業の取り組み・授業プリント) ○条件作文 読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫しようとしている。(授業の取り組み・授業プリント) ○教科書本文読解 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えようとしている。(授業の取り組み・授業プリント)</p>	<p>○話すこと ・粘り強く論理の展開を考え、今までの学習を生かして話そうとしている。 (授業の取り組み・授業プリント【振り返り】) ○書くこと ・粘り強く自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って批評する文章を書こうとしている。 (授業の取り組み・授業プリント【振り返り】) ○読むこと ・粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題に沿って考えたことについて討論しようとしている。 (授業の取り組み・授業プリント【振り返り】)</p>

(2) 年間指導計画

国語科の目標

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。
- 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い自分の思いや考えを広げたり深めたりさせる。
- 言葉がもつ価値を認識し言語文化を大切にして、思いや考えを伝えさせる。

国語科 3学年の目標

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。
- 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めさせる。
- 言葉がもつ価値を認識し、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	1、深まる学びへ ・「世界は美しいと」	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントの空欄を埋める。抜き出しだけでなく、自分の言葉でまとめる。回し読みすることにより、他人の考えに触れ、考えを深める。 ・表現上の工夫に注意し、筆者の思いを捉える。 ・登場人物のエピソードや言葉に着目して、登場人物同士の関係を読み取らせる。 ・プリントの回し読み後、小グループで話し合い、自分の考えと比較し評価しながら相手の考えを聞く。 ・熟語に関する知識を広げ、文や文章の中で読んだり使ったりさせる。 	観察・ノート プリント・テスト
5	<ul style="list-style-type: none"> ・「握手」 ・学びて時にこれを習ふ —「論語」から ・文章の種類を選んで書こう ・漢字1 熟語の読み方 		
6	2、視野を広げて ・作られた「物語」を超えて ・思考のレッスン ・説得力のある構成を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の中における語句や図の使い方などに注意して読み、筆者の論理の展開のしかたを捉えさせる。 ・書いた文章を読み返し、文章全体を整えさせる。 ・俳句を読み味わうとともに、感動が伝わるように、俳句を作る。 ・題材を決め、論理の展開や表現を考えて批評文を書かせる。 ・状況や相手に応じて言葉の選び方や伝え方を考えた表現を探す。 ・和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解させる。 	観察・ノート プリント・テスト
7	スピーチで社会に思いを届ける ・漢字2 ・文法 スイカはいくつ 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう		
	3、言葉を見つめる ・俳句の可能性 ～俳句十六句 俳句を味わう ・言葉を選ぼう ・「批評」の言葉をためる ・言葉1 和語漢語外来語		
	<ul style="list-style-type: none"> ・読書生活を豊かに ・「羊と鋼の森」 読書案内本の世界を広げよう 読書コラム ためになるってどんなこと？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考えさせる。 	観察・ノート プリント・テスト 発表

9	<p>4、状況の中で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「挨拶——原爆の写真によせて ・「故郷」 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現に着目して詩を読み詩に表現されている内容と、現実の世界の在り方とを対応させながら読ませる。 ・作品を通して人間と社会との関わりを考え、自分の意見をもつ。 ・情景や人物を描写する語句や表現に注目しながら読ませる。 	<p>観察・ノート プリント・テスト 発表</p>
10	<p>聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推敲 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間や場の条件に合わせてスピーチをさせる。 ・進行のしかたを工夫する。 ・慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。 ・さまざまな文章を集め、工夫して文章を編集する。 	<p>観察・ノート プリント・テスト</p>
11	<p>論理の展開を考える</p>		
12	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 ・漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう 		
	<p>5、自らの考えを 人工知能と未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 漢字に親しもう 議論 合意形成に向けて話し合おう</p> <p>音読 「初恋」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの説明文を読み比べ、構成や展開、表現のしかたについて学ぶ。 ・社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合う。 ・2年までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。 ・情報化社会の可能性と困難について学び、自分の意見をもたせる。 ・言葉や表現の工夫などに注意しながら、筆者のものの見方や考え方を読み取らせる。 	<p>観察・ノート プリント・テスト</p>
	<p>6、いにしへの心を受け継ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 ・君待つと 一万葉・古今・新古今 ・夏草 —「おくのほそ道」から ・古典名句、名言集 	<ul style="list-style-type: none"> ・「古今和歌集 仮名序」の冒頭部分を音読し、古典の世界に親しむ。 ・語句や表現の工夫に注意しながらそれぞれの和歌を読み味わう。 ・歴史的背景などを想像し、作者のものの見方や感じ方を読ませる。 ・古典の一節や言葉を引用して自分の思いを伝える文章を書く。 	<p>観察・ノート プリント・テスト 発表</p>
	<p>7、価値を生み出す 誰かの代わりに 情報を読み取って文章を書こう 漢字のまとめ 漢字に親しもう 文法 ないの違ひ 読書に親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書の練習 ・書初め 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張をとらえ、自身のありかたを考え発表をする。 ・漢字の造語力について知り、語彙を豊かにする。 ・点画の方向や形の変化、連続の仕方を指導しその部分をもつ漢字を書かせる。 ・文法についての理解を深め、日常生活の中での表現や読解に生かす。 ・教科書 P56 の欄外を見て回答を確かめ、点画の省略や筆順の変化など、設問に関連のある知識を確認し、定着させる。 ・校内書き初め展へ向けて作品を書かせる。 	<p>観察・ノート プリント・テスト</p>

1	8、未来へ向かって 「温かいスープ」 「わたしを束ねないで」 ・三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う 漢字に親しもう 学習を振り返ろう ◎これまでに学習したことを生かして、卒業を記念する作品を作ることができる。	・現代社会の可能性や困難、生き方について、自分の考えをもつ。 ・本文を読み、これからの自分の生き方について意見をもつ。 ・三年間の漢字学習の総まとめとして、漢字の意味や読み方などについて調べ、適切に使い慣れる。 ・三年間の国語の学習を振り返り、冊子にまとめる。 ・これまでに学習したことを生かして、毛筆で「輝ける未来へ」を書く。 ・「学習の窓」を一覧し、3年間で学習したことを振り返る。	観察・ノート プリント・テスト
2			
3			

3年社会科(歴史的分野)

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示)参 照	我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	社会的事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付け活用している。	社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し，社会に見られる課題の解決に向けて思考・判断できる。思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	社会的事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようすることができる。多面的・多角的な考察や深い理解を通して，国民主権を担う公民として，その平和と繁栄を図ることや，他国や他国の文化を尊重することができる。
・授業の構想と学習評価例	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特徴である、少子高齢化社会がどのようなものであるか、説明できる。 ・少子高齢化の実態を、グラフや表など資料をもとに読み取ることができる。 ・合計特殊出生率など用語を理解して使いことができる。 《授業での取り組み》 <ul style="list-style-type: none"> ・グラフをもとに、少子高齢化の進行を読み取り、40年後の人口構成から将来自分の置かれる立場を考え文章化する。 《評価》 <ul style="list-style-type: none"> ・グラフから40年後の自分の立場を理解し、少子高齢化の進行について理解し、文章化できる。 ・提出物、ワークシート、定期考査、ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の原因を、少子化・高齢化それぞれについて考えることができる。 ・少子高齢化による影響を、利点・課題点それぞれを考えることができる。 《授業での取り組み》 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の原因をそれぞれ考え文章にする。 ・少子高齢化による影響を利点・課題点それぞれ考え、まとめ意見を交流する。 《評価》 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の原因を考えまとめることができる。 ・少子高齢化の影響を利点・課題点それぞれを考えまとめ発表し、他者の意見をもとに視野を広げることができる。 ・ワークシート、定期考査、ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会について、前向きに考え、より良い社会生活を送るための手立てを考えることができる。 《授業での取り組み》 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会の利点・課題点をもとに、より良い社会生活を送るために必要なしくみを考える。 《評価》 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会の利点・課題点をもとに、持続可能な社会生活を送るために必要なしくみを複数の視点で考え文章化することができる。 ・レポート、定期考査、ワークシート、ノート

(2) 年間指導計画

社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

社会科 第3学年の目標

《歴史的分野》社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	第5章 開国と近代日本の歩み	<p>○以下の内容について知識を活用し、我国の歴史の大きな流れを各時代の特色をふまえて理解していると共に諸資料からも歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定による立憲制の国家の成立。 ・日清戦争、日露戦争にともなう日本の国際的な立場や影響。 ・第一次世界大戦による民族運動の高まりと国際協調の動き。 ・第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力。 ・経済の社会的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治外交の動き。 ・中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き戦時下の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過。 	<p>ワークシート ノート レポート 小テスト ワークなど提出物 定期考査などテスト 授業中の観察 振り返り用紙</p>
5	第2節 明治維新		
6	第3節 日清・日露戦争と日本		
7	第6章 二度の世界大戦と日本		
	第4節 第一次世界大戦と日本		
	第5節 世界恐慌と日本の世界進出		
9	第6節 第二次世界大戦と日本		
9	第7章 現代の日本と私たち		
	第1節 戦後日本の発展と国際社会		
	第2節 新たな時代の日本と世界		

3年社会科(公民的分野)

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示) 参 照	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
■ 教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付け活用している。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会に見られる課題の解決に向けて思考・判断できる。思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとするができる。多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国民主権を担う公民として、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することができる。
・授業の構想と学習評価例	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特徴である、少子高齢化社会がどのようなものであるか、説明できる。 ・少子高齢化の実態を、グラフや表など資料をもとに読み取ることができる。 ・合計特殊出生率など用語を理解して使いことができる。 《授業での取り組み》 ・グラフをもとに、少子高齢化の進行を読み取り、40年後の人口構成から将来自分の置かれる立場を考え文章化する。 《評価》 ・グラフから40年後の自分の立場を理解し、少子高齢化の進行について理解し、文章化できる。 ・提出物、ワークシート、定期考査、ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の原因を、少子化・高齢化それぞれについて考えることができる。 ・少子高齢化による影響を、利点・課題点それぞれを考えることができる。 《授業での取り組み》 ・少子高齢化の原因をそれぞれ考え文章にする。 ・少子高齢化による影響を利点・課題点それぞれ考え、まとめ意見を交流する。 《評価》 ・少子高齢化の原因を考えまとめることができる。 ・少子高齢化の影響を利点・課題点それぞれを考えまとめ発表し、他者の意見をもとに視野を広げることができる。 ・ワークシート、定期考査、ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会について、前向きに考え、より良い社会生活を送るための手立てを考えることができる。 《授業での取り組み》 ・少子高齢社会の利点・課題点をもとに、より良い社会生活を送るために必要なしくみを考える。 《評価》 ・少子高齢社会の利点・課題点をもとに、持続可能な社会生活を送るために必要なしくみを複数の視点で考え文章化することができる。 ・レポート、定期考査、ワークシート、ノート

(2) 年間指導計画

社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

社会科 第3学年の目標

《公民的分野》現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	第1章 私たちが生きる現代社会と文化の特色	<p>○以下の内容について知識を活用し、現代社会の課題について多角的多面的に考え表現する。持続可能な社会の形成を視野に課題解決の手立てを考え表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特色 少子高齢化・情報化・グローバル化 ・文化の意義と影響 ・社会の在り方 対立と合意・公正と効率・個人の尊厳と両性の本質的平等・契約と責任 ・人間の尊重と法の意義（法の支配・象徴天皇制） ・日本国憲法の三原則 ・人権の意義 	<p>ワークシート ノート レポート 小テスト ワークなど提出物 定期考査などテスト 授業中の観察 振り返り用紙</p>
5			
6	第2章 個人を尊重する 日本国憲法		
7			
9	第3章 民主政治と政治参加	<p>○以下の内容について知識を活用し、現代社会の課題について多角的多面的に考え表現する。持続可能な社会の形成を視野に課題解決の手立てを考え表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主政治とは 選挙・政党政治 ・国会の仕組みと役割（議会制民主主義） ・内閣の仕組みと役割 ・裁判所の仕組みと役割（司法権の独立・裁判の種類） ・地方自治の仕組みと役割（町づくり） 	<p>ワークシート ノート レポート 小テスト ワークなど提出物 定期考査などテスト 授業中の観察 振り返り用紙</p>
10			
11			
12	第6章 国際社会に生きる私たち	<p>○以下の内容について知識を活用し、現代社会の課題について多角的多面的に考え表現する。持続可能な社会の形成を視野に課題解決の手立てを考え表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会が抱える問題（持続可能を妨げる様々な課題） ・様々な地域が抱える課題 ・日本の領域と外交 ・国際連合の仕組みと役割 ・地域統合のはたらき 	
1	終章 私たちが未来の社会を築く	<p>○持続可能な社会の実現を目指して、多角的多面的に考えて解決すべき課題を挙げ、その理由を表現する。さらに、社会としての解決の手立てを具体的に考え表現する。</p>	<p>ワークシート ノート レポート 小テスト ワークなど提出物 定期考査などテスト 授業中の観察 振り返り用紙</p>
2			
3			

2年数学科

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示) 参照	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
■ 教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』参照	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・適格に表現する力を身に付けている。 	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
○ 授業の構想と学習評価例	<ul style="list-style-type: none"> 同類項の意味を理解している。 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 目的に応じて、簡単な式を変形することができる。 <p>《授業での取組》 教科書の内容を基にした学習（例題を元にした説明から、問題演習等で考え方を共有したり、教えたり教えてもらったりする学習活動）</p> <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容がきちんと身に付いているか お互いの意見交換の場面で正しい表現ができているか 数学的に表現したり、処理したりする技能が身に付いているか 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。 <p>《授業での取組》 教科書を基に、自ら深く考えたことを互いに伝え合い、学び合える学習（考え方を共有したり、教えたり教えてもらったりする学習活動）</p> <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習した内容について、正確に表現できているか 友達に、正しい表現で教えることができたか 友達から教えてもらったことを基に、自力解決できるようになっているか 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いた式について考えようとしている。文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 <p>《授業での取組》 基本事項について自ら学ぶことができる（調べるができる）教材を提供し、取り組ませる</p> <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題演習等への取り組み状況 学び合い学習での活動の様子 各種教材（問題集）に取り組む姿勢と取り組み状況 学習した内容を振り返り、次に生かそうとしているか

(2) 年間指導計画

数学科の目標

基礎的な知識及び技能を習得し、数学的に考える力をはぐくむとともに、数学のよさを知り、数学が役立つことや数学と科学技術との関係などの理解を深め、事象を数理的に考察する能力と度を養う。

数学科 第2学年の目標

- (1) 文字式を利用する能力を養い、連立二元方程式について理解し用いる能力を養う。
- (2) 平面図形の理解を深めるとともに、数学的な推論の必要性を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。
- (3) 一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
- (4) 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	第1章 式の計算(18) ・式の計算 ・式の活用	・単項式と多項式/多項式の加法, 減法/多項式と数の乗法, 除法/単項式の乗法, 除法/式の値 ・式の活用/等式の変形 ・倍数の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取組 ・問題集 ・ノート(プリント) ・単元テスト
5	第2章 連立方程式(16) ・連立方程式とその解き方 ・連立方程式の活用	・連立方程式とその解/連立方程式の解き方/いろいろな連立方程式 ・連立方程式の活用	
6	第3章 1次関数(16) ・1次関数 ・1次関数と方程式	・1次関数/1次関数の値の変化とグラフ/1次関数のグラフのかき方/1次関数の式の求め方 ・2元1次方程式のグラフ/連立方程式とグラフ	
7	・1次関数の活用	・1次関数の活用	
9	第4章 図形の性質の調べ方(16) ・平行線と角 ・合同と証明	・直線と角/多角形の内角と外角 ・合同な図形/三角形の合同条件/図形の性質の確かめ方/作図と証明	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取組 ・問題集 ・ノート(プリント) ・単元テスト
10	第5章 三角形と四角形(20) ・三角形	・二等辺三角形/二等辺三角形になるための条件/正三角形/直角三角形の合同条件	
11	・四角形	・平行四辺形/平行四辺形になるための条件/特別な四角形/平行線と面積	
12	第6章 確率(10) ・確率	・ことがらの起こりやすさ/確率の求め方/いろいろな確率	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取組 ・問題集 ・ノート(プリント) ・単元テスト
1	第7章 データの分析(12)	・四分位数と四分位範囲/箱ひげ図	
2	総復習(4)		
3			

3年理科

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示) 参 照	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
■ 教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』参照	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
○ 授業の構想と学習評価例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学的な物の見方や考え方を理解しようとしている。 ・ 目的に対して仮説を立て、計画的に実験や観察を行い、得られた実験結果の情報等を適切に処理しようとしている。 <評価> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト ・ 実験プリント ・ 授業観察 ・ 小テスト ・ レポート課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験や観察を通して、科学的な物の見方や考え方を使い、科学的な様々な現象について説明しようとしている。 <評価> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト (計算・応用問題) ・ 小テスト(思考系) ・ レポート課題 ・ 授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然科学に興味関心を持ち、科学的な物の見方や考え方を使って、探究しようとしている。 <評価> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理科ノート ・ 問題集やプリントなどの取り組み ・ 質問紙 ・ レポート課題 ・ 定期考査

(2) 年間指導計画

理科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

理科(生物分野・科学分野)第3学年の目標

自然の事物・現象についての理解を深め、これまで科学的な現象に対しての探求の過程を振り返る。また、科学的に探究しようとする態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	単元1 運動とエネルギー	1章 力の合成と分解	プリント 行動観察 提出課題 テスト
5		2章 水中の物体に加わる力 3章 物体の運動 ・運動の記録 ・運動の法則 4章 仕事とエネルギー ・仕事の原理	
6		1章 生物の成長とふえ方 ・細胞分裂 ・動物と植物の生殖 ・有性生殖と無性生殖 2章 遺伝の規則性と遺伝子 ・遺伝子とDNAの利用 3章 生物の種類の多様性と進化	
7	単元2 生命のつながり		プリント 行動観察 提出課題 テスト
9	単元3 自然界のつながり	1章 生物どうしのつながり 2章 自然界を循環する物質 探究とまとめ	プリント 提出課題
10	単元4 化学変化とイオン	1章 水溶液とイオン ・電流が流れる水溶液 ・原子とイオン 2章 化学変化と電池 ・イオンへのなりやすさ ・電池とイオン ・いろいろな電池 3章 酸・アルカリとイオン ・酸とアルカリ ・中和と塩	プリント 提出課題 行動観察 テスト
11			
12			
	単元5 地球と宇宙	1章 天体の動き ・太陽の1日の動き ・四季の星座と地球の公転 ・太陽の表面	プリント 行動観察 テスト
1		2章 月と惑星の運動 ・太陽光の角度と温度の変化 ・月の形と位置の観察 3章 宇宙の中の地球 探究とまとめ	プリント 行動観察 テスト
2			
3			

3年音楽科

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け歌唱、器楽、創作で表している。 	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
○授業の構想と学習評価例	<p>【例】歌唱「明日の空へ」</p> <p>知「明日の空へ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>技創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>【授業での取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師による指導や、パートでの音とりなど、生徒同士の声を聴き合い、教え合う活動。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の内容が身に付いているか ・自分の考えをプリントや自己評価カードに言葉で表現することができるか ・パート練習の様子 	<p>思「明日の空へ」の旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、その関わりについて考えている。</p> <p>思知覚・感受したこととの関わりについて考え、「明日の空へ」をどのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【授業での取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師による指導や、パートでの音とりなど、生徒同士の声を聴き合い、教え合う活動 ・プリント等への記入 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の内容が身に付いているか ・自分の考えをプリントや自己評価カードに言葉で表現することができるか ・パート練習の様子 	<p>態「明日の空へ」の曲想や歌詞の内容、声部の役割と全体の響きなどに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【授業での取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師による指導や、パートでの音とりなど、生徒同士の声を聴き合い、教え合う活動 ・プリント等への記入 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の内容が身に付いているか ・自分の考えをプリントや自己評価カードに言葉で表現することができるか、また、学習した内容を振り返り、生かそうとしているか ・パート練習の様子

(2) 年間指導計画

音楽科の目標

音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を養う。

音楽科 第3学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようになる。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

月	題材名	指導内容	評価方法
4	日本の歌のよさや美しさを理解して歌唱表現を工夫しよう 《歌唱》 花	<ul style="list-style-type: none"> ・詩や曲の背景を理解する。 ・情景を思い浮かべながら、言葉を大切に合唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業 ・実技テスト ・ワーク、プリント ・定期考査
5	オペラに親しみ、その魅力を味わおう 《鑑賞》	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラに親しみ、その音楽を理解する。 ・オペラと音楽の歴史について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの取り組み
6	オペラを鑑賞しよう (魔笛など)	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な奏法を理解する。 	
7	曲想と音楽の構造との関わりを理解して歌唱表現を工夫しよう 《合唱》 群青	<ul style="list-style-type: none"> ・混声3部合唱 ・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱する。 ・作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱する。 	
9	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して歌唱表現を工夫しよう 《合唱》 群青	<ul style="list-style-type: none"> ・混声3部合唱 ・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱する。 ・作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱する。 	
10	歌舞伎に親しみその魅力を味わおう 《鑑賞》	<ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎に親しみ、その音楽を理解する。 ・歌舞伎や他の芸術との関わりを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業 ・実技テスト ・ワーク、プリント ・定期考査 ・パート練習の取り組み ・グループワークの取り組み
11	歌舞伎	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なコード進行で演奏する。 	
12	楽器の音色と奏法との関わりを理解して創作表現を工夫しよう 《創作》 ウクレレのコードを使い創作しよう		
1	曲想と音楽の構造との関わりを理解して歌唱表現を工夫しよう 《合唱》 旅立ちの日に	<ul style="list-style-type: none"> ・混声3部合唱 ・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱する。 ・作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業 ・実技テスト ・ワーク、プリント ・定期考査 ・パート練習の取り組み ・グループワークの取り組み
2	卒業式の式歌		
3			

3年美術科

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示) 参 照	対象や事象を捉える造形的な 視点について理解するととも に、表現方法を創意工夫し、 創造的に表すことができるよ うにする。	造形的なよさや美しさ、表現 の意図と工夫、美術の働きな どについて考え、主題を生み 出し豊かに発想し構想を練つ たり、美術や美術文化に対す る見方や感じ方を深めたりす ることができるようにする。	美術の創造活動の喜びを味わ い、美術を愛好する心情を育 み、感性を豊かにし、心豊か な生活を創造していく態度を 養い、豊かな情操を培う。
■ 教科の「評 価の観点及び その趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
※『指導と評価の 一体化』のための学 習評価に関する参考 資料』参照	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 	造形的なよさや美しさ、表現 の意図と工夫、美術の働きな どについて考えるとともに、 主題を生み出し豊かに発想し 構想を練ったり、美術文化に 対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わ い主体的に表現及び鑑賞の幅 広い学習活動に取り組もうと している。
○ 授業の構想 と学習評価例	<p>「ピクトグラムを考えよう (デザイン)」</p> <p>知識 形などの性質や、それ からもたらす効果、場所や造 形的な特徴などを基に、全体 のイメージで捉えることができ ている。</p> <p>技能 意図に応じて表現方 法を創意工夫して、制作の順 序などを総合的に考えなが ら、見通しをもって造形的に 表している。</p> <p>【評価材料】 授業観察 ワークシート (アイデアスケ ッチ) 作品 定期テスト</p>	<p>「ピクトグラムを考えよう (デザイン)」</p> <p>発想 伝える相手や施設、場 所などのイメージなどから主 題を生み出し、形がもたらす 効果や、分かりやすさと美し さなどの調和、統一感など を総合的に考え、表現の構想 を練っている。</p> <p>鑑賞 伝達のデザインの調 和のとれた洗練された美しさ などを感じ取り、表現の意図 と造形的な工夫などについて 考えるなどして、見方や感じ 方を深めている。</p> <p>【評価材料】 授業観察 ワークシート (アイデアスケ ッチ) 作品 定期テスト</p>	<p>「ピクトグラムを考えよう (デザイン)」</p> <p>態度・表現 主体的に主題を 生み出し、統一感などを総合 的に考え構想を練り、意図に 応じて創意工夫し見通しをも って表現の学習活動に取り組 もうとしている。</p> <p>態度・鑑賞 主体的に伝達の デザインの調和のとれた洗練 された美しさなどを感じ取り 、意図と創造的な工夫など について考えるなどの見方や 感じ方を深めながら学習活動 に取り組もうとしている。</p> <p>【評価材料】 授業観察 ワークシート (アイデアスケ ッチ) 作品</p>

(2) 年間指導計画

美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

美術科 第3学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫。機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法			
4	リエンテーション・鑑賞 「授業内容（年間予定）の確認」	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品や生徒作品の鑑賞から、分野や内容の種類などを理解する。 ・教科書、資料集の文章を読み、これまでの美術的な経験を振り返り、中学校で美術での課題を見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業見学 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・作品 ・定期テスト 			
5						
6						
7	工芸・デザイン・鑑賞 「扇子のデザイン」	<ul style="list-style-type: none"> ・使う場所や目的を考え、実用性と装飾性とを兼ねそなえた、扇子のデザインを考える。 ・参考作品や生徒作品の鑑賞から、発想や工夫しているところを見付ける。 				
9	鑑賞 「手づくりの良さ（伝統工芸）について学ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や東京で受け継がれている伝統工芸や文化財ユニバーサルデザインについて理解する。 ・修学旅行で見学した作品の鑑賞から、分野や内容の種類などを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト 			
10						
11				彫刻・鑑賞 「抽象形を制作する」	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象とは、抽象形とは何かを学習する。 ・2年時に制作した篆刻と同じ素材の石を使用し、石彫で抽象形の作品を制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシート ・作品 ・定期テスト
12						
1	絵画・鑑賞 「自我像」	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分を表す物を描くことで」今の自分を表す「自我像」とする。描かれる対象は自分を表す物ならなんでもいい。自画像でもいい。自己を極限まで追求した作品になることを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシート ・作品 ・定期テスト 			
2						
3				鑑賞 「校内展示発表会（展示）を鑑賞する」	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会の展示作品を鑑賞して、それぞれの作品が持つ良さや違いなどを感じ取る。 ・三年間の授業や作品づくりの中で学習して身に付けた技術や効果などについて、自身の生活に生かせるように振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学カード

3年保健体育科

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解するとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
○授業の構想と学習評価例	<p>運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力や高め方、表現の仕方、伝統的な考え方、発表の仕方などを理解し、身に付ける。</p> <p>《授業での取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技練習、発表、記録会、試合。 ・健康・安全についての理解。 <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期末考査 ○実技テスト <ul style="list-style-type: none"> ・個人技能（記録、技、フォーム、表現、発表） ・チーム内での活動における技能評価（攻防の仕方、動き） ・試合での活動における技能評価 ○準備運動など ○保健、体育理論 	<p>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に言葉や文章、動作などで伝えることができる。</p> <p>《授業での取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を設定し、取組方法を工夫・改善する。 ・グループでの学び合い、話し合い活動。 ・学習カードへの記入。 <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習カード ○その日の「ねらい」を意識して考えながら取り組み、表現している。 ○練習や試合の活動（個人、グループ）における取り組み。 ○保健、体育理論 	<p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを認めようとする、健康・安全に留意する、自己の最善を尽くして運動をする。</p> <p>各種目に積極的に取り組み、技能や体力の向上を図る。また、上達するために繰り返し粘り強く取り組む。</p> <p>《授業での取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人やチームの課題への継続的な取り組み。 ・協力し最善を尽くす取り組み姿勢。 ・学習カードへの記入。 <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎時間の行動、準備片付け ○学習カード ○保健、体育理論 ○各種目の取り組む姿勢

(2) 年間指導計画

保健体育科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を養う。

保健体育科 第3学年の目標

- 1 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。
- 2 自己の課題を自らで考え、発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、課題に応じた運動の取り組み方や運動の組み合わせ方を工夫し、自己や仲間が考えたことを分かりやすく他者に伝えている。
- 3 運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を持ち、健康・安全を確保し、生涯にわたって運動に親しもうとしている。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	集団行動 体づくり運動	集団行動 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	行動観察,テスト 学習カード,テスト
5	運動会練習 陸上競技	・短距離走 ・リレー ・ハードル走	行動観察 定期考査 実技テスト 学習カード
6	体づくり運動(体力測定)	・新体力テスト	
7	球技 体育理論 保健	・バレーボール ・文化としてのスポーツ ・健康な生活と病気の予防	
7	水泳	・水慣れ ・クロール・平泳ぎ・背負泳ぎ・バタフライ	
9	陸上競技	・走り幅跳び・走り高跳び	行動観察 定期考査 実技テスト 学習カード
10	球技	・ハンドボール	
11	陸上競技	・長距離走	
11	ダンス	・ダンス	
12	体育理論 保健	・文化としてのスポーツ ・健康と環境	
1	武道	・柔道	行動観察 定期考査 実技テスト 学習カード
2	体育理論 保健	・文化としてのスポーツ ・健康と環境	
3	球技	・サッカー	

3年技術・家庭科(技術分野)

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料参照	生活や社会で利用されている技術について理解するとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
○授業の構想と学習評価例	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や加工の技術についての科学的な原理・法則を理解している。 ・製作状況に応じた、必要な技能が適切に活用できている。 《授業での取組》 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントでの学習 ・実習 ・製作 《評価》 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントでの学習状況 ・授業の振り返りができたか。 ・安全な作業について理解し、実施できるか。 ・知識が身に付いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を見いだして課題を設定し、解決に向けての手順を考えている。 ・構想したアイデアが分かりやすく具体化されている。 《授業での取組》 <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見いだして課題を設定する。(プリント) ・構想を図にして表現する。 《評価》 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントの取組 ・構想図 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものへの改善・修正をしようとしている。 《授業での取組》 <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見いだして課題を設定する。(プリント) ・構想図を図にして表現する。 《評価》 <ul style="list-style-type: none"> ・学習で得た知識や技能を製作で活用できているか。 ・製作図をよりよくすることができているか。また努力したか。

技術・家庭科（技術分野）の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

技術・家庭科（技術分野） 第3学年の目標

(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。

(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	情報の技術 ・計測・制御による問題解決	・計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習への取組 ・ワークシート ・レポート ・製作の技術
5	材料と加工の技術 ・生活や社会と材料と加工の技術 ・製作のための技能	<ul style="list-style-type: none"> ・金属やプラスチックの特徴と加工方法を知る。 ・製作のための設計製作 	
6			
7			
9	情報の技術 ・情報セキュリティと情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ○情報セキュリティの重要性と危険を防ぐための技術を知る。 ○基本的な情報セキュリティ対策をまとめる。 ○情報モラルの必要性和情報を収集・発信するときに注意することを知る。 ○情報社会で人権などの権利を尊重する必要性を考える。 ○知的財産を保護する必要性和利用方法を知る。 ○知的財産の望ましい活用を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習への取組 ・ワークシート ・製作の技術
10			
11			
12			
1	技術分野の学習をふり返り、私たちの未来へつなげよう	<ul style="list-style-type: none"> ○技術の学習をふり返り、技術の見方・考え方について確認する。 ○技術の工夫・創造とわたしたちの未来について考え、技術と主体的にかかわる必要性について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習への取組 ・ワークシート
2			
3			

3年技術・家庭科(家庭分野)

(1) 観点別学習状況の評価例

<p>■ 教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照</p>	<p>知識及び技能</p> <p>家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p>	<p>思考力・判断力・表現力等</p> <p>これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなどして課題を解決する力を養う。</p>	<p>学びに向かう力人間性等</p> <p>家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとする態度を養う。</p>
<p>■ 教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料参照</p>	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・ 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。 	<p>思考・判断・表現</p> <p>これからの生活を展望し、3族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>家族や地域の人々と協働しよりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
<p>○ 授業の構想と学習評価例</p>	<p>食生活や衣生活、住生活、家族・家庭生活、消費生活、環境について理解し、実践することができる。</p> <p><授業での取り組み> 家庭生活に関する基礎的・基本的な学習 (「考えてみよう」から、考え方を共有したり、作業の時は教えあったりする学習活動)</p> <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容がきちんと身に付いているか ・ 作品やプリント等、提出日に出しているか ・ グループでの話し合いの時の気づきがあるか 	<p>それぞれの領域で学習したことについて、問題を見いだして課題を設定し、考察し表現することができる。</p> <p><授業での取り組み> 家庭生活に関する基礎的・基本的な学習 (考えを発表し、共有することができ、互いに高めあう学習活動)</p> <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを正しい表現で発表することができるか ・ プリントやワーク等、正確に記入されているか ・ グループでの話し合いを基に考察し表現することができるか 	<p>それぞれの領域で学習したことについて、課題の解決に取り組み、振り返って、生活を工夫し実践しようとしている。</p> <p><授業での取り組み> 家庭生活に関する基礎的・基本的な学習 (学んだことを生活にいかせるように自ら取り組む学習活動)</p> <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品やプリント・ワーク等への取り組み状況 ・ 学習した内容を振り返り、次に生かそうとしているか ・ 学習に積極的に取り組んでいるか(発言、作品等)

(2) 年間指導計画

技術・家庭科（家庭分野）の目標

健康で快適な家庭生活が営まれるように基礎的な知識及び技能を習得し、家族や地域の人とかかわり、たがいに尊重し、共に生きる生活を創造していく力を育む。

技術・家庭科（家庭分野） 第3学年の目標

- (1) 家族や地域の人とかかわり、たがいに尊重し、共に生きる生活を創造していく力を養う。
- (2) 幼児の生活と家族を学習し、総合的なまとめとして、ポートフォリオの製作ができる力を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法		
4	第1章 家族・家庭や地域との（1） かかわり ・家庭生活と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、家庭の基本的な働き ・地域の人々とかかわり ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・幼児の生活習慣 ・幼児の生活の特徴 ・幼児の睡眠、食事 ・幼児の遊び ・幼児の心身の発達と遊び ・幼児の遊び道具 ・幼児の発達を支える家族の役割 ・「ポートフォリオ」の製作について テーマ決め、資料収集、製作方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取り組み ・プリント 		
5	第2章 幼児の生活と家族（5） ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・幼児の生活習慣				
6	・幼児の生活 ・幼児の遊びと発達				
7	・幼児の発達を支える大人の役割 ・保育作品「ポートフォリオ」				
9	・「ポートフォリオ」製作（6）			・「ポートフォリオ」の下書き	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取り組み ・プリント ・作品
10				・「ポートフォリオ」の清書	
11					
12	・子どものすこやかな成長のために （2）	<ul style="list-style-type: none"> ・「児童憲章」、「子どもの権利条約」 ・「児童虐待の防止」 ・「ユニセフ」 			
1					
2	第2章 消費者の権利と責任（5）	<ul style="list-style-type: none"> ・悪質商法の問題点 ・クーリング・オフ ・消費者トラブルの相談先 ・消費者の権利と責任 ・買い物の中の社会的な意味 ・地球温暖化と消費者 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取り組み ・プリント 		
3	・消費者の権利 ・消費者の責任 ・消費生活が社会に与える影響 ・環境に及ぼす影響				

3年外国語科(英語)

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示)参 照	外国語の音声や語彙、表現、 文法、言語の働きなどを理解 するとともに、これからの知 識を、聞くこと、読むこと、 話すこと、書くことによる実 際のコミュニケーションにお いて活用できる技能を身に付 けるようにする。	コミュニケーションを行う目 的や場面、状況などに応じて、 日常的な話題や社会的な話題 について、外国語で簡単な情 報や考えなどを理解したり、 これらを活用して表現したり 伝え合ったりすることができ る力を養う。	外国語の背景にある文化に対 する理解を深め、聞き手、読 み手、話し手、書き手に配慮 しながら、主体的に外国語を 用いてコミュニケーションを 図ろうとする態度を養う。
■ 教科の「評 価の観点及び その趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
※『「指導と評価の 一体化」のための学 習評価に関する参考 資料』参照	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、 文法、言語の働きなどを理解 している。 ・外国語の音声や語彙、表現、 文法、言語の働きなどの知識 を、聞くこと、読むこと、話 すこと、書くことによる実際 のコミュニケーションにおい て活用できる技能を身に付け ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う 目的や場面、状況などに応じ て、日常的な話題や社会的な 話題について、外国語で簡単 な情報や考えなどを理解した り、これらを活用して表現し たり伝え合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化に 対する理解を深め、聞き手、 読み手、話し手、書き手に配 慮しながら、主体的に外国語 を用いてコミュニケーション を図ろうとしている。
○ 授業の構想 と学習評価例	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書のリスニングパート <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題や社会的な話 題について話されているパッ セージを聞いて、その内容を 的確に捉えている。 (→聞くこと) ○Lesson ごとの教科書準拠 ワーク <ul style="list-style-type: none"> ・その単元で学んだことと今 ままでに学んだ知識を用いて、 事実や自分の考えなどを正し く書くことができる技能を身 に付けている。 (→書くこと) 	<ul style="list-style-type: none"> ○英作文 <ul style="list-style-type: none"> ・今までに学んだ語彙や文法 事項を用いて、テーマに沿っ てまとまりある文章を書いて いる。また、聞き手に伝わり やすいように文章を工夫して 書いている。(→書くこと) ○ALT の授業 <ul style="list-style-type: none"> ・今までに学んだ語彙や文法 事項を用いて、テーマに沿っ てまとまりある内容を話して いる。また、ふさわしい態度 で、聞き手に伝わりやすいよ うに、身振り手振りを取り入 れ発表している。(→話すこと 【発表】) 	<ul style="list-style-type: none"> ○言語活動 (ALT の授業) <ul style="list-style-type: none"> ・ペア活動では、自分の考え や気持ちを、学んだ表現を積 極的に用いて、間違いを恐れ ず相手に伝えようとしている。 また、相手が伝えたい内容 を聞きとろうとしている。 (→話すこと 【やり取り】) ○教科書本文読解 <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある長い文章を 読むときには、適宜辞書等を 用いながら、必要な情報や概 要、要点を捉えようとしてい る。(→読むこと)

(2) 年間指導計画

外国語科（英語）の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

外国語科（英語） 第3学年の目標

- (1) 初歩的な英語を聞いて話し手の意向を理解できるようにする。
- (2) 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。
- (3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- (4) 英語を書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	Starter Best Music of All Time	<ul style="list-style-type: none"> ・曲を紹介する記事の内容理解 ・現在完了進行形（肯定文・否定文・疑問文） ・聞き手が必要な情報を聞き取る ・情報を付け加える 	授業における行動観察 プリント等提出物 発言・発表 定期考査 自己評価カード
5	Lesson 1 Stand by Me	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態（肯定文・否定文・疑問文） ・話し手が伝えたいことを聞き取る 	
6	Lesson 2 Languages in India	<ul style="list-style-type: none"> ・理由や説明を求める ・根拠を示して説明する 	
7	Lesson 3 The Story of Sadako	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞、過去分詞の限定用法（後置修飾） ・聞き手が必要な情報を聞き取る ・話題を変える ・確かめる ・感情の原因を表す不定詞 	
9	Lesson 4 The World's Manga and Anime	<ul style="list-style-type: none"> ・主格の関係代名詞（that / which / who） ・話の全体的な内容を聞き取る ・道順を尋ねる ・交通経路を説明する 	授業における行動観察 プリント等提出物 発言・発表 定期考査 自己評価カード
10	Reading for Fun 1 Zorba's Promise	<ul style="list-style-type: none"> ・目的格の関係代名詞（that / which） ・目的格の関係代名詞の省略（接触節） 	
11	Lesson 5 I Have a Dream	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手が伝えたいことを聞き取る ・食事を勧める ・承諾する、断る 	
12	Lesson 6 Imagine to Act	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去 ・I wish+仮定法過去 ・話し手が伝えたいことを聞き取る 	
	Lesson 7 For Our Future	<ul style="list-style-type: none"> ・議論を進める ・議論に参加する ・間接疑問文 ・原形不定詞 ・want+0+to V 	
1	Reading for Fun 2 A Present for You	<ul style="list-style-type: none"> ・物語文の内容理解 ・説明文の内容理解 ・都立高校学力選抜検査問題の解き方の理解 	授業における行動観察 プリント等提出物 発言・発表 定期考査 自己評価カード
2	Reading for Fun 3 Learning from Nature		
3	都立高校学力選抜検査問題演習		